

## 平成25年度事業報告

平成25年4月1日より平成26年3月31日まで

### 1. 【事業成果】

平成24年度立ち上げた「再生可能エネルギー部会」は、平成25年度も精力的に活動を展開し、環境学習センター支援事業として「バスで行く県内の再生可能エネルギー施設見学会」を2回、成功裏に企画運営できたことは成果であった。

受託事業である指定管理者宇都宮市環境学習センターは、今年度最終年度を迎えた。第2期指定管理者受託に向けて提案を行い、平成25年12月に第2期指定管理者（平成26年度～平成30年度）として再度指定されたことは、今日までの活動を評価いただいたものと受け止めたい。

### 2. 【事業計画と成果】 （細部は別添資料「平成25年度事業実施報告書」を参照）

(1) 各主体の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業

事業計画	成果
1) ホームページ（U-net）の運営 <b>【運営：情報部会】</b> 23年度にリニューアルしたホームページを、各主体の環境情報にリンクさせ、情報交流の中心的役割を目指し、市民活動の充実を図る。さらにメルマガ等を活用し、ホットな情報発信に努める。	<b>【運営：情報部会】</b> ホームページの情報を適宜更新し運用した。内容の充実度は必ずしも十分なものではなく引き続き努力していきたい。11月にメルマガの発信を再開した。（12件発信）  <b>【HPアクセス件数 4,370件/25年度】</b>
2) 会報誌（Eco together）の発行 <b>【運営：情報部会】</b> 特集記事の企画、U-net、他団体と連携した紙面づくりを行い、環境情報の総合的、体系的整備を行い環境活動情報の配信を行なう。発行予定回数：4回（6月、9月、1月、3月）配布先：会員に加え関係団体・機関へも配布	<b>【運営：情報部会】</b> 会報誌（Eco together）の発行写真を多用し親しみやすい構成とした。 ・発行回数：4回（6月、9月、1月、3月） ・配布先：会員、関係団体、一般  <b>【発行部数 約250部*4回】</b>
3) 環境イベントへの参画 <b>【運営：情報部会】</b> 下記の環境イベントに参加しフォーラムのPRに努める。 ① もったいないフェア（9月予定） 場所：宇都宮城址公園 ② エコもりフェア（10月予定） 場所：わくわくグランディ科学ランド ③ その他環境イベント	<b>【運営：情報部会】</b> ①もったいないフェア 2013 9月29日（日）来場者 27,000人 ②エコ・もりフェア 2013 10月5日（土）来場者 3,000人 ③エコテック&ライフとちぎ 2013 11月30日（土）・12月1日（日） 来場者 3,590人 ④環境学習センター「エコまつり」 2月28日（金）～3月2日（日） 来場者 2,213人  <b>【来場者合計：約36,000人】</b>

(2) 各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：自然観察部会】</b></p> <p>1) 環境団体との協働で市民が気軽に参加し、楽しく学べる機会の提供</p> <p>①自然体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野鳥観察会（5月・12月）</li> <li>・天体観察会（1月）</li> </ul> <p>②環境学習センター支援事業「星空観察会」の企画運営</p>	<p><b>【運営：自然観察部会】</b></p> <p>① [春の野鳥観察会] (上桑島町) 5月11日(土)20人 場所：鬼怒川緑地公園</p> <p>② [冬の野鳥観察会] 12月14日(土)20人 場所：同上</p> <p>③ [星空観察会] ←大雪のため中止 2月8日(土)予57人 場所：環境学習センター</p> <p>④環境学習センター支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天体望遠鏡づくり講座 7月21日(日)88人</li> <li>・冬の星空観察会 12月14日(土)62人</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約190人】</b></p>
<p><b>【運営：エコライフ推進部会】</b></p> <p>2) エコライフ推進に関する環境学習の場の提供</p> <p>①食から始めるエコ第3弾（年6回程度）</p> <p>内容：講義と実習を組み合わせた楽しい企画とする。</p> <p>場所：アグリプラザ、環境学習センター、協力農園 等</p> <p>②環境学習センター支援事業「エコライフ達人講座」の企画運営</p> <p>③各種環境イベント・県内各地のシニア講座や文化祭と連携。</p>	<p><b>【運営：エコライフ推進部会】</b></p> <p>①食から始めるエコ 部会長体調不良のため、実施できなかった。</p> <p>②環境学習センター支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮染め体験 7月12日(金)19人 場所：市内中川染工場</li> <li>・オドロキの農業勉強会 9月7日(土)36人 場所：宇大附属農場、館野農園(野木町)</li> <li>・バスで行く真岡・益子 9月19日(木)34人 場所：真岡木綿会館(真岡市) 日下田藍染工房(益子)</li> </ul> <p>③各種イベント等との連携 一部団体で実施</p> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約90人】</b></p>
<p><b>【運営：里山保全部会】</b></p> <p>3) 里山環境の保全と環境学習の場の提供</p> <p>①里山環境の保全： 毎月第3日曜日午前中に保全作業を行なう。</p> <p>②環境教育の場の提供： 環境学習センター支援事業 「うつのみやの自然」の支援 地域の環境活動支援</p>	<p><b>【運営：里山保全部会】</b></p> <p>① 里山環境の保全…継続活動とともに、整備などを実施している。 今年で10年目。(毎月第3日曜日) 場所：みずほの里山保全地 延べ37人</p> <p>②環境学習・環境教育の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習センター支援事業 「カエル調査」 9月22日(日)30人 場所：みずほの里山保全地 他</li> <li>「落葉さらいと焼いも」12月15日(日)40人 場所：みずほの里山保全地</li> <li>「冬の野鳥観察」1月5日(日)31人 場所：みずほの里山保全地周辺</li> <li>・瑞穂台小学校体験学習 10月11日(金)26人 場所：みずほの里山保全地 他</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約170人】</b></p>

<p><b>【運営：再生可能エネルギー部会】</b></p> <p>1) 栃木再生可能エネルギー創出の実態・課題・今後の普及可能性等を探る機会の提供。</p> <p>①勉強会・施設見学会・実践者との懇談会等の実施（毎月）</p> <p>②参加メンバーの募集</p> <p>③環境学習センター事業 「再生エネルギー施設見学会」の企画運営</p>	<p><b>【運営：再生可能エネルギー部会】</b></p> <p>24年度に新しく立ち上がった部会で、栃木県の再生可能エネルギーの現状と課題把握につとめ、広く市民に情報発信した。</p> <p>①勉強会・講師を招いての講義など幅広く活動した。開催回数 17 回/年 延べ 85 人</p> <p>②環境学習センター支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスで行く「県内の再生可能エネルギー施設見学会」を 2 回企画運営した。</li> <li>10 月 12 日(土)住友大阪セメント他 49 人</li> <li>11 月 30 日(土)鹿沼ソーラーファーム他 37 人</li> <li>・「エコまつり」にブース出展し、再生可能エネルギーの現状と課題を発表した。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約 170 人】</b></p>
---	--

(3) テーマに応じた環境の企画・実践に係る事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：事務局】</b></p> <p>1) 体験・見学等を通して「環境」に気づく機会を提供する。</p>	<p><b>【運営：事務局】</b></p> <p>①足尾植樹体験（環境学習センター支援事業） バスで足尾に行く 7 月 27 日（土） 37 人</p> <p>②天日干し（地域活動支援事業） 地元さつきまちづくり企画委員会と共催で、農家の畑をお借りしてお米をつくり収穫祭。 10 月 13 日（日）他 70 人</p> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約 110 人】</b></p>

(4) 宇都宮市環境学習センター受託事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：学習センター事業部】</b></p> <p>平成 24 年度累計利用者 30 万人達成を機に、さらなる飛躍を狙いたい。宇都宮市の環境学習拠点施設としてさらに認知度を高めるとともに、市民ニーズを的確に把握し、次の各機能を充実させる。また、支持母体であるフォーラムとの事業連携を深めていく。</p>	<p><b>【運営：学習センター事業部】</b></p> <p>指定管理者 3 年目となる 25 年度も、地域との連携強化、フォーラムから講座運営支援などを受け活動を強化、利用者も昨年に続き年間 3 万人を達成できた。</p> <p>また、第 2 期指定管理者（平成 26～30 年度）の指定を受けたことは特筆できる。</p>

<p>1) 環境学習機会提供機能 再生エネ・省エネ・気象などを重点テーマに講座の充実、他の環境団体との連携による自然体験講座の導入、さらにリサイクル講座も充実する。また、企業・社会人向け見学を拡充し、栃木県最大のごみ発電能力のあるクリーンパーク茂原の学習機会を提供する。</p> <p>2) 活動支援機能 事務局を担当する県内「こどもエコクラブ」の活性化、自主活動グループの活動支援、また、フォーラム会員へボランティアサポーターとしての参加を働きかける。</p> <p>3) 交流促進機能 自主活動グループ、地元自治会、各種団体、企業等の支援をいただき「エコまつり」を開催し、新しい市民の参加を誘導する。</p> <p>4) 情報提供機能 1 階展示場の改善を進め、再生品提供事業、視聴覚教材、各種環境団体、企業などの情報提供を充実する。</p> <p>5) 体質強化機能 市民サービスを支えるスタッフ資質向上のため教育研修を継続する。</p> <p>6) 市民サービスの向上 フォーラムを含め外部情報を積極的に入手し事業運営に反映する。</p>	<p>1) 環境学習機会提供機能 ・環境大学（前期：気象と環境、後期：にっぽんのものづくり）、環境映画会、再生可能エネルギー施設見学会など講座内容の充実を図った。</p> <p>2) 活動支援機能 ・環境学習センター主催の「自然探検隊」を「こどもエコクラブ」として登録し、活動状況を全国に発信、活動の幅を広げた。 ・自主グループが9グループに増加し、活動が活発化してきている。 ・「エコまつり」運営では、フォーラム会員の支援をいただいた。</p> <p>3) 交流促進機能 ・昨年に続き地元宇都宮工業高校と連携、廃棄自転車を利用したマイクロ水力発電装置を製作、釜川で運用、マスコミにも注目された。 ・「エコまつり」の来館者も2,213人と昨年を大幅に上回り、交流促進が図れた。</p> <p>4) 情報提供機能 ・「ごみ体感ゲーム」など3種の体験型ゲームを開発し、環境への市民理解を促進した。 ・企業の環境状況報告書を100社以上収集更新し、1階展示場に配置した。</p> <p>5) 体質強化機能 ・近隣市町のごみ処理施設を見学し情報交換を行い、スタッフの資質向上に努めた。 ・初めての試みとして見学通路全面安全パトロールを実施。42項目の改善指摘があり、31項目の対策を実施した。</p> <p>6) 市民サービスの向上 ・各事業ごとにアンケート調査を実施。また、館内に意見箱を設置し、ニーズ/クレームを継続的に把握し対応した。</p> <p style="text-align: right;">目標人数 31,000 人 【参加者合計：31,134 人（前年度比 93%）】</p>
---	---